



“2015 岩手流通センター活き活き祭”開催

10月11日(日)盛岡地区勤労者共同福祉センター大ホールを主会場に、「岩手流通センター活き活き祭」を開催した。



この祭は、岩手流通センター内企業・団体と周辺企業等で組織する岩手流通センター活性化委員会の主催で、当組合も積極的に参加した。

6回目となる今回も、東日本大震災の復興支援を共通のテーマに、協賛商品の売上金全額と来場者から寄付していただいた古着や古紙を回収し換金後の全額を義援金として10月29日にIBC岩手放送を通じて募金した。

祭には、岩手流通センター内企業を中心に39社の出店があり、多種多様な商品が安価で販売された。最初のステージアトラクションである幼稚園・保育園の園児による演技は、あいにくの雨となり急遽体育館で行われた。その後は曇り空のもと野外ステージでキャラクターショーやライブなどが行われ、子供から大人までたくさんの人で賑わった。来場者は6,500人。



(3)倒産組員(株)オタナカ施設の売却について

7月の第5回理事会で承認された旧組員(株)オタナカ施設の売買契約を(株)寿広(第5部会所属)と9月11日(金)に締結したことを報告した。

(4)岩手流通センター活き活き祭の開催準備状況報告

(5)流通神社例大祭の開催について

(6)組合収支状況報告

今年度4カ月間の収支状況は共同事業収入242,908千円、共同事業費は225,274千円であり17,634千円の粗利益。賦課金収入、事業外収入が計17,723千円、一般管理費、事業外費用が計20,784千円、結果として当期利益は14,573千円である。減価償却費を今年度予算額の4カ月分で勘案すると償却後利益は4,203千円となったことを報告。

2. 提出議案

第1号 副理事長1名の追加互選について

齊藤哲哉理事(株)三協医科器械社長)が新たな副理事長に選任され、副理事長は2名体制となった。

第2号 物流センター高度化資金連帯保証人の変更申請について

5月の組合通常総会において、組合役員に変更があったことから、県に対して高度化資金借入に係る連帯保証人の変更申請を行なうことが承認された。

第3号 団地内施設の譲渡及び譲受人の組合加入承認について

日本板硝子東北(株)(第3部会所属)の施設及び組合出資持分を(株)ゼアーに譲渡することが承認された。

第4号 団地内施設及び組合出資持分の譲渡承認について

東邦薬品(株)(第6部会所属)の施設及び組合出資持分を(株)中村商会(第2部会所属)に譲渡することが承認された。

第5号 岩手流通センター活き活き祭協賛金の支出について

10月11日(日)開催予定である岩手流通センター活き活き祭の協賛金は、昨年と同額の15万円とすることが承認された。

第6号 盛岡物流センター舗装補修工事の実施について

凍上被害によりアスファルト舗装面に発生した段差、剥離、くぼみ、大小合わせて27箇所について補修工事を実施することが承認された。

理事会結果報告

第6回 理事会 (9月14日開催)

1. 報告事項

(1)物流センター事業運営報告

7月の取扱い物量は11,241ケース、収入合計6,590千円、支出合計6,566千円。8月の取扱い物量は9,076ケース、収入合計5,954千円、支出合計5,945千円と報告。

(2)物流センター高度化資金9月末償還について

第7号 共同駐車場区画線・番号及び舗装補修工事の実施について

組合共同駐車場の区画線、区画番号が見えなくなっている場所とアスファルトに亀裂が入っている部分について、補修工事を実施することが承認された。

第8号 全国卸商業団地厚生年金基金 後継企業年金基金加入について

来年3月に解散の予定である全国卸商業団地厚生年金基金について、組合事務局として後継の企業年金基金に正式に加入申込をすることが承認された。

第7回 理事会 (10月22日開催)

1. 報告事項

(1)物流センター事業運営報告

9月の取扱い物量は11,563ケース、収入合計6,254千円、支出合計6,523千円と報告。

(2)物流センター高度化資金9月末償還報告

9月末の約定償還額である26,500千円を9月30日(水)に実行したことを報告。

(3)各委員会委員長・副委員長の互選結果報告

別添 委員会委員一覧表参照

(4)岩手流通センター活き活き祭の開催結果報告

(5)全国卸商業団地厚生年金基金の動向について

10月22日(木)に第37回代議員会が開催され、平成26年度決算と解散に関する事項が承認されたので主な内容を報告。

平成26年度決算の純資産額は841億円、国の代行部分の最低責任準備金は822億円で純資産額が19億円上回り、代行割れの状況は解消された決算となった。

当基金は解散する方針が決議されており、解散に必要な加入事業者と加入員共に3分の2以上の同意を得ている。解散に先立ち、国の代行資産の前納を2回実施しており、前納額は合計で792億円である。

解散時の財政予測では純資産額が17～19億円、業務経理の剰余金7億円を加えると合計資産額は24～26億円。これに対し、解散時点での国に返納する最低責任準備金は16～17億円と予測され、差額の8～9億円が厚生年金基金解散に係わる分配財源となる見通しである。

厚生年金基金の解散事務と平行して、後継となる確定給付企業年金を来年3月に設立する準備を行っている。後継の年金に加入する加入員の分配財源は後継制度に引き継がれ、後継制度に加入しない場合は加入員個人が分配金を受け取ることになる。

今後のスケジュールは、来年1月開催の最終代議員会で正式に解散決議され、厚労省へ解散認可申請を行い3月に認可される見込みである。

その後、加入者ごとに国と基金の記録の突合を行い、その結果により平成29年6月頃に国に返納する最低責任準備金が確定し、残余財産の分配作業を行い、平成30年3月に清算業務を終了する計画である。

(6)平成28年新春セミナー及び新年交歓会の開催について

日時：平成28年1月21日(木)16時～
場所：ホテルメトロポリタン盛岡
NEW WING
講師：未定

2. 提出議案

第1号 記憶メディア破壊装置購入について

パソコンを廃棄する場合の情報漏洩対策として、ハードディスクのデータ消去ができる記憶メディア破壊装置を組合に設置し組合員が格安で利用できるようにすることが承認された。

なお、準備が整い次第組合員に利用案内する予定。

流通神社例大祭開催



10月1日(木)午前11時から流通神社例大祭を開催した。

今年も晴天に恵まれた例大祭は、鹿妻公園隣接の流通神社境内において高橋矢巾町長、長野商工中金盛岡支店長ほか金融機関の代表、流通センター内の企業や団体・住民代表など約40名の参列により、流通センター関係者の商売繁盛・家内安全を祈願して神事が執り行われた。

盛岡法人会流通センター支部総会・研修会開催

10月26日(月)午後1時30分からラポール盛岡において21名の参加により開催した。

総会後の研修会ではマイナンバー制度について盛岡税務署統括国税調査官の平栗茂之氏から、これから通知されるマイナンバーの取り扱いや様式が変更される申請書類についての説明があった。流通センター支部では今後もマイナンバー制度についての研修会を開催する予定である。



部会・経営研究会・桐華会活動

・経営研究会9月例会

9月15日(火)午後5時30分から経営研究会9月例会を市内において開催した。



例会は、キャンノンマーケティングジャパン(株)東北ビジネスソリューション本部の阿部桂久氏を講師に迎え、『「マイナンバー制度対策セミナー」～重要な情報を守る、セキュリティ対策のポイント』と題して講演を行った。

講演では、マイナンバーの管理に関して企業が行う必須事項であるセキュリティ強化の観点からわかりやすい講義を頂いた。間近に迫ったマイナンバーの通知開始や制度運用開始に対し、事業者向けの個人情報適正取り扱いに関するガイドラインのチェック項目に乗っ取り、受講者は最終確認の場として不備がないかなどの認識を深めた。

例会は、キャンノンマーケティングジャパン(株)東北ビジネスソリューション本部の阿部桂久氏を講師に迎え、『「マイナンバー制度対策セミナー」～重要な情報を守る、セキュリティ対策のポイント』と題して講演を行った。

・第3部会・第6部会合同ボウリング大会

10月16日(金)午後6時30分からビッグハウス・スーパーレーンにおいて開催した。



合同での開催となる本大会も3回目となり、プレイを通してより親交を深めた。

<参加数>

12社 15チーム 60名

<団体戦>

優勝 東北物産(株)B 1,114点
準優勝 (株)モリオカ大東A 1,100点
第3位 丸乃タイル(株) 1,021点

<個人戦>

優勝 白井 勝男 (株)モリオカ大東 350点
準優勝 田中智賀子 (丸乃タイル(株)) 337点
第3位 佐藤 岳夫 (盛岡卸センター) 310点

・経営研究会ゴルフコンペ

10月17日(土)ローズランドカントリークラブにおいて開催した。



当日は最高の天気にも恵まれ、この時期としては気温も高く、中には半袖でのプレイの方が見られた。

今回も会員以外の参加者も多数あり親睦を深めることができた。

<参加数>

15社 22名

<成績> (新ペリア方式)

優勝 松田 稔 (岩手農蚕(株)) NET 72.0
準優勝 齋藤俊一 (みちのくキャンティン(株)) // 73.8
第3位 平子田由則 (株)アウトレジャー // 74.6

・桐華会10月例会

10月24日(土)桐華会10月例会を8名の参加により開催した。

今回の例会は研修旅行として北海道新幹線開業に伴い、今後廃止される「白鳥」を利用し函館市を訪れた。



函館駅周辺は、以前訪れた時とは大分様変わりしていることに驚いている会員もいた。

天候に恵まれなかったが、市内では公共交通機関を利用し、五稜郭から元町、教会群、八幡坂、金森赤レンガ倉庫群などを散策し、異国情緒を味わうことができた。

函館山から見下ろす夜景は世界三大夜景と言われるだけあって、とても綺麗で美しく皆感動していた。

日帰りの研修旅行ではあったが、函館を十分満喫し、会員間の親睦を深めることができた。

組合員変更・異動状況

敬称略・〔 〕内前代表者

代表者変更

・(株)小松製菓 (第2部会)
代表取締役社長 小松 豊〔小松 務〕

社名変更

・(株)ネクスコ東日本リテイ(賛助会員)
(旧社名:株盛岡セントラルホテル)

組合加入

・(株)ゼアー (第4部会)
事業内容:自動車整備業
本 社:矢巾町大字太田第12地割24番1
TEL:019-613-5046 FAX:019-613-5047
代表者:代表取締役社長 大志田岩男
所在地:盛岡市流通センター北1-1-9

組合脱退

・日本板硝子東北(株) (第3部会)
・東邦薬品(株) (第6部会)

押しつけず 叩かず 決めよう 適正価格
～11月は下請取引適正化推進月間です～
公正取引委員会/中小企業庁

公正取引委員会及び中小企業庁は、毎年11月を「下請取引適正化推進月間」とし、下請代金支払遅延等防止法(通称「下請法」)及び下請中小企業振興法(通称「下請振興法」)の普及啓発を図っています。

全国各地において下請取引適正化推進講習会を開催するほか、下請取引に関する質問等にも応じています。

詳細は、公正取引委員会のホームページ(<http://www.jftc.go.jp/>)又は中小企業庁のホームページ(<http://www.chusho.meti.go.jp/>)を御覧ください。

行事予定

- 11月 5日(木) 団地内秋の一斉清掃 (雨天翌日)
- 〃 環境整備委員会 (雨天翌日)
- 〃 第1部会 (繊維部会・繊維企画委員会) 合同会議 (市内)
- 11月10日(火) 全国卸商業団地協同組合連合会 トップセミナー (東京)
- 〃 矢巾町総合開発委員会(矢巾町)
- 〃 第6部会 研修旅行 (宮城県)
- 〃 (株)岩手ソフトウェアセンター 取締役会 (市内)
- 11月10日(火)・16日(月)～18日(水) 生活習慣病予防健診・がん検診
- 11月11日(水) A L S O K 共栄会岩手支部 情報交換会 (市内)
- 〃 第17回卸団地親睦ホウソウ大会 (市内)
- 11月13日(金) 矢巾町合併60周年記念式典 (矢巾町)
- 11月13日(金)～14日(土) 青森県流通団地連絡協議会 団地組合女子職員研修会
- 11月18日(水) 岩手商工中金会 役員会・総会 (市内)
- 〃 経営研究会 11月例会 (市内)
- 11月19日(木) 第8回 理事会
- 11月20日(金) 全国中小企業団体中央会 全国大会 (沖縄県)
- 〃 第4部会 秋季懇親会 (市内)
- 11月25日(水) 中間決算監査会
- 11月27日(金) 全国卸商業団地協同組合連合会 東北ブロック会議 (福島県)

- 12月10日(木) 経営研究会 役員会
- 12月11日(金) 第2・3・5部会合同忘年会 (市内)
- 12月14日(月) 第4部会 例会
- 12月15日(火) 岩手県中小企業団体中央会 創立60周年記念式典 (市内)
- 12月17日(木) 第9回 理事会 (市内)
- 12月18日(金) 岩手トラックターミナル(株) 取締役会 (市内)

お知らせ

・ラポール盛岡1Fロビー催事予定

催事内容		開催日			
11月	乾物・珍味販売	5	12	19	26
	たい焼・たこ焼販売	4	10	20	25
	婦人服販売	30			
12月	シクラメンフェア	10 11			
	ブーツフェア	15 16			
	乾物・珍味販売	3	17	24	
	たい焼・たこ焼販売	1	7	14	24 25
	婦人服販売	1	2	14	21 22

※都合により追加・変更になる場合があります。

団地内「秋の一斉清掃」

実施日：11月5日(木) 午前中 (雨天時翌日)

特に、敷地内のススキやカヤの処理、建物裏側道路・側溝の落ち葉や泥等の清掃を実施し、団地内環境美化的のためにも、是非、ご協力をお願いいたします。

リサイクル事業をご利用ください。

このリサイクル事業は、協同組合盛岡卸センターと環境整備委員会が協力して、流通センター内企業の皆さんと一緒に取り組むリサイクル活動です。ごみを分別回収して資源化することによって、ごみの減量、更にはCO2排出量の削減をはかり、環境に配慮した企業活動を行うことで社会貢献につながります。

更に上記リサイクル事業参加者を対象に、パソコンを無償で引き取りし、専門業者がリサイクル処理するパソコンリサイクルを行っております。貴重な資源の有効のためにリサイクル活動にご協力よろしくお願いたします。

リサイクル事業回収品目は、

- ①ダンボール
- ②新聞紙
- ③雑誌・一般紙
- ④ペットボトル
- ⑤アルミ缶
- ⑥スチール缶

の6品目
半期毎のキャッシュバック有り!

リサイクル事業参加企業は
パソコン無償引き取り
(別途申込必要)

回収対象品目は、

- ①デスクトップPC本体
- ②ノートPC
- ③液晶ディスプレイ

の3品目

●お問合せは、盛岡卸センター業務課まで